

2021年6月17日
株式会社Hacobu
ASKUL LOGIST株式会社

アスクルロジストが、Hacobuの配送案件管理サービス MOV0 Vistaを導入 配送業務の非効率なやり取りを削減

「運ぶを最適化する」をミッションとして、企業間物流の最適化を目指す株式会社Hacobu（ハコブ、本社：東京都港区、代表取締役社長CEO 佐々木太郎、以下「Hacobu」）の配送案件管理サービス MOV0 Vista（ムーボ・ヴィスタ）が、アスクル株式会社100%子会社のASKUL LOGIST株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長 天沼英雄、以下「アスクルロジスト」）に導入されました。



導入の背景

物流業界では依然として日々、大量のメール・電話でのアナログなやり取りが行われていません。

特に荷主企業、元請企業、下請けの協力運送会社による企業間での輸配送に関わるやり取り（配送案件の受発注、配車のステータス管理、伝票や請求の管理）において顕著で、1日に数十件のメール・電話のやり取りを行うことも珍しくありません。

アスクルロジストでは、協力運送会社への配車依頼をメールと電話で行い、エクセルで管理しているため手間がかかっていました。

たとえば、ある荷主の商品を全国のアスクルロジストの物流センターから納品先に配送する場合、毎月500～600の運行手配が発生します。車両手配のために、協力運送会社と集荷日、着荷日、車両、ドライバーの決定等をメール・電話でやり取りします。しかし、車両手配完了後に、荷主から配送先や配送量の変更依頼が入ることや、協力運送会社から車両やドライバーの変更の連絡が入ることも多いです。変更が発生する度にやり取りが増えます。この管理がメールとエクセルでは情報連携がスムーズではなく、状況把握の伝言ゲームも発生しがちです。見落としによる配車手配漏れの懸念に加え、他の業務への支障が発生していました。

期待する効果

MOV0 Vistaの導入によって、輸配送に関する情報の一元化が実現します。期待される効果は、以下です。

- ① 輸配送状況の見える化
- ② 輸配送業務の自動化（請求書作成、実績データの蓄積等）
- ③ 配車手配・予実管理の時間短縮による業務時間およびコストの削減効果

どの配送案件がいつ出荷され、どの車両が配送し、いつ配送が完了したかといった、全ての配送ステータスが、荷主、アスクルロジスト、協力運送会社の3社で見える化され、タイムリーに共有できるようになります。3社間での伝言ゲームがなくなることで、運行手配業務にかかる時間は約1/3程度に短縮され、車両の手配漏れや配送ミスに繋がる危険性が大幅に減少されることを見込んでいます。

アスクルロジストの目指す姿

西日本エリアにおける外販の一部からMOVVO Vistaを導入開始し、将来的には全国の輸送網へと適応範囲を拡大していく予定です。

配送案件管理サービス MOVVO Vistaについて

Logistics Cloud MOVVOのアプリケーションの1つ。荷主企業、元請企業、協力運送会社がFAX、メール、電話に替えて、MOVVO Vistaにアクセスし、オンライン上で輸配送の実行業務をやり取り可能です。これにより3者のコミュニケーションコストが大幅に削減されるとともに、輸配送データがデジタル化・見える化されます。

<https://movvo.co.jp/movvo-vista>

Hacobuについて

「運ぶを最適化する」をミッションとして、企業間物流の最適化を目指し、Logistics CloudMOVVOを提供

商号 : 株式会社Hacobu
設立 : 2015年6月30日
所在地 : 〒108-0073 東京都港区三田3丁目12番17号 プレクスビルディング3階
代表 : 代表取締役社長CEO 佐々木 太郎

ASKUL LOGIST株式会社について

アスクル株式会社100%出資の物流子会社。主にアスクル物流センターの庫内運営、配送業務を行う。

商号 : ASKUL LOGIST株式会社
設立 : 2009年4月21日
所在地 : 〒135-0061 東京都江東区豊洲三丁目2番3号 豊洲キュービックガーデン12階
代表 : 代表取締役社長 天沼 英雄